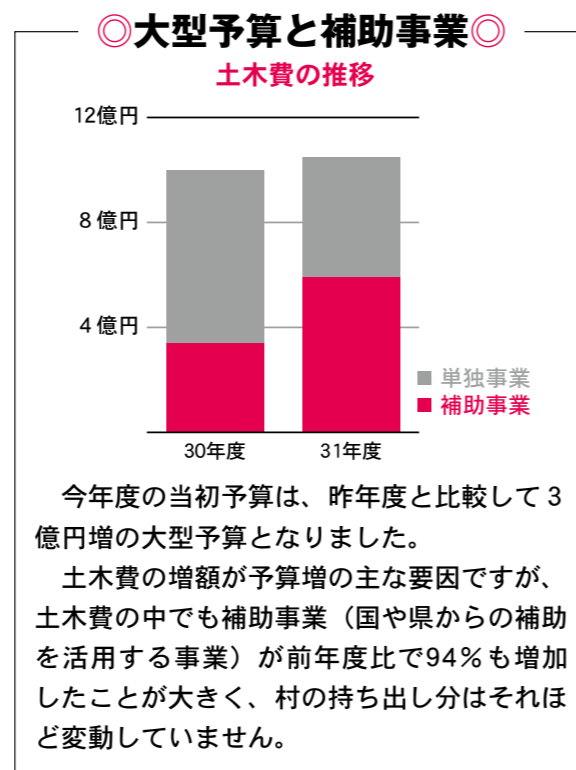
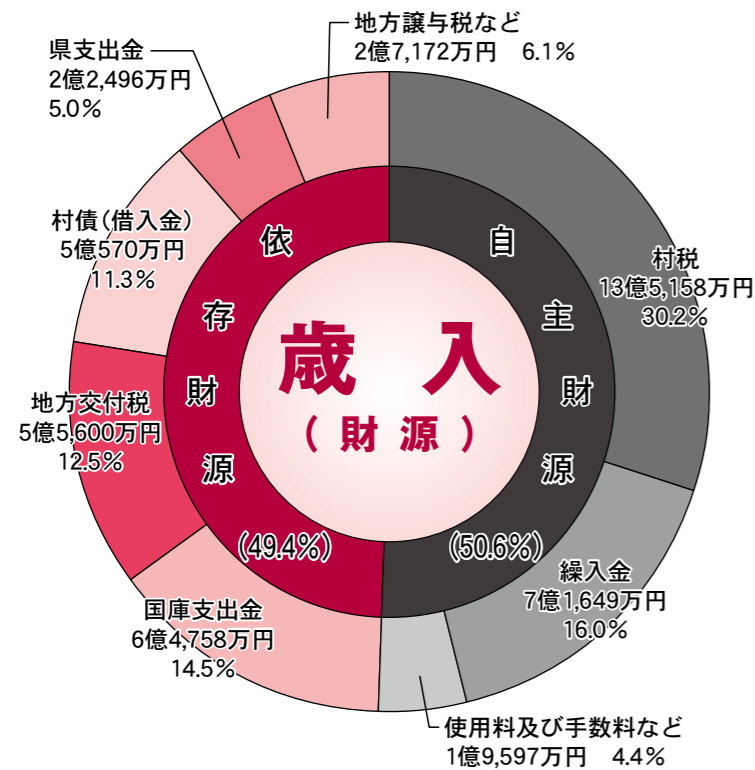


# 万葉クリエートパーク 公園長寿命化事業

## 遊具更新 に1億円

一般会計予算  
44億7,000万円  
(前年度から3億円増)

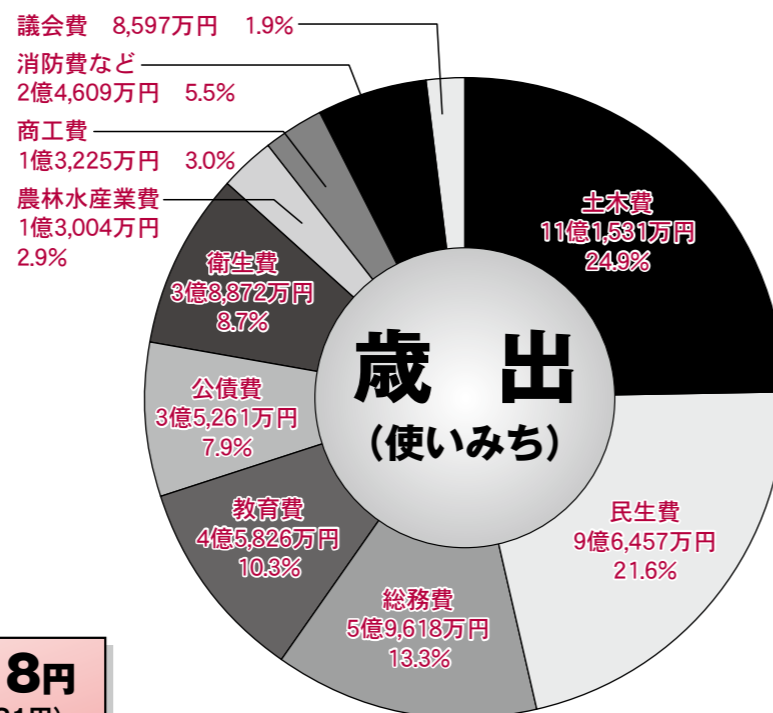
平成31年度  
予算成立  
賛成9・反対1



更新予定のクリエートパーク遊具(全13ヶ所)

平成31年第1回定例会は、3月5日から14日までの10日間にわたり開かれました。村長提出案件は、人権擁護委員の推薦2件、条例改正6件、請負契約の変更1件、平成30年度補正予算9件、平成31年度各種会計当初予算7件の全25議案が提出され、全て原案どおり可決しました。13Pから19Pに掲載しております。

- ◆ 主な実施事業 ◆**
- 大瓜南側線改良舗装事業 ……2億4,511万円
  - 尾西中山線改良舗装事業 ……1億8,807万円
  - 村営住宅長寿命化事業 ……1億3,150万円
  - 衛中北コミュニティ施設整備事業 ……8,573万円
  - 病児保育事業補助金 ……437万円



◎各種会計予算◎

	会計別	予算額	前年度比
特別会計	国民健康保険事業	5億 690万円	△580万円
	下水道事業	2億4,230万円	△6,640万円
	介護保険事業	6億1,000万円	3,230万円
	戸別合併処理浄化槽	4,130万円	80万円
	後期高齢者医療	5,060万円	△200万円
水道事業(収益的収入及び支出)		2億5,242万円	519万円

※宅地造成事業特別会計は平成30年度をもって廃止

村民1人あたり **746,618円**  
H31.2.28 現在 5,987人 (前年度 712,821円)



予算  
質疑

# 学校給食費を無償化



文屋裕男委員長

平成31年度各種会計の予算を審査するため、予算審査特別委員会（委員長 文屋裕男・副委員長 早坂豊弘）が5日間にわたり開かれました。

特別委員会では課長などに質疑を行い、慎重審議した結果「可決すべき」と決定し、3月14日の本会議で議長に報告しました。

## 主な質疑

### 学校給食費の完全無償化

**問** いままでの減免制度から無償化になった場合、給食にかかる経費はどのくらいになるのか。

**答** 給食費として保護者から徴収していた約1700万円を無償化する。総額で2400万円ほどの金額になる。

**問** 2400万円の財源はどう考えているか。

**答** 一般財源を充当する予定だが、財源として寄附金を活用することについては、積極的に検討していきたい。



給食おいしかった!!

### ふるさと納税の使途

**問** ふるさと納税による寄附金はどのように使われたか。具体的な使いみちや金額をホームページで公表していくべきではないか。

**答** 31年度は4事業に充当する予定である。ふるさと寄附金は貴重な財源である。寄附者にも効果をPRできるような使いみちを考えていきたい。

### ◎ふるさと寄附金の使いみち（H31年度）

No.	事業名	充当額	事業費
1	ハザードマップ作成事業	329万円	329万円
2	特定不妊治療助成事業	144万円	150万円
3	チャイルドシート購入事業	93万円	186万円
4	小学校漢字検定手数料	11万円	11万円



今年も会えて良かったね（大衡村敬老会）

### 敬老会と敬老祝金

**問** 敬老会開催の方向性と、祝品・祝金の今後についての考えは。

**答** 31年度の敬老会は従来どおり開催する。祝品については内部で検討を重ねていく。特別敬老祝金は、あと数年もすれば現在の倍の予算措置が必要になると見込んでいる。今後の検討課題である。

### 村政130周年式典

**問** 式典は、いつどこで行われるのか。

**答** 村の功労者表彰式に合わせ、11月3日に中学校講堂で開催したい。

**問** 式典の特色は。

**答** 「大衡村130年の歩み」を作成したい。また、通常の表彰のほかに、特別表彰も検討している。アトラクションとして、自衛隊音楽隊のコンサート等も考えている。

### 宮城県総合防災訓練

**問** 9月1日に行われる県総合防災訓練の内容は。

**答** 村消防団、地区自主防災組織や小中学校、さらに県内全消防本部、企業、病院等も参加する大規模な訓練になる。

**問** 訓練予算の財源は。

**答** 財源は県補助金と東日本大震災復興基金を充てる。予算総額は736万円を計上している。

### 災害復旧貸付基金

**問** 災害復旧貸付基金は、償還期限が平成31年12月20日となっているが、収納状況は。

**答** 借入者67名のうち、現在まで完納している方は44名である。

**問** 収納対策はどのようにしていくのか。

**答** 私債権管理条例に基づく手続きをし、収納対策に努めていく。



昨年の県総合防災訓練（七ヶ浜町：H30.9.1）





にぎわう牛野ダムキャンプ場

牛野ダムキャンプ場

問 牛野ダム公園管理に要する予算の総額は。

答 除草や清掃委託等で約350万円かかっている。

問 キャンプ場の来客増加により、清掃を請負う地元衛生組合の負担も増えている。維持管理のあり方を見直すべきでは。

答 地元衛生組合の意見を参考に、検討していく。

公園遊具の更新

問 クリエートパークの遊具等を1億円かけて修理する現状を考えると、公園維持には利用者の料金負担が必要ではないか。

答 駐車場の有料化は、多額の設備投資が必要なため、断念した経緯がある。今後は維持管理費を抑えた公園のあり方を考えていく。

狩猟免許への補助

問 わな・狩猟・銃の所持、免許の取得に関して、村はどのような補助をしているのか。

答 わな免許、狩猟一種免許の取得については、申請手数料、講習料、診断書発行費用等を全額助成している。免許更新の必要経費も全額助成している。

銃の所持については、1丁分の所持許可の更新を全額助成している。助成事業を積極的にPRして、有害鳥獣駆除実施隊への参加を呼びかけていきたい。

児童保育費の増額

問 補助金が昨年より1100万円増となっているが、その要因は。

答 保育補助者、用務員の雇用と病児保育事業が主なものである。

問 資格は必要なのか。

答 補助者と用務員は保育士不足対策であり、資格は必要ない。病児保育については、看護師資格者の配置が必須である。31年度は万葉こども園で事業を開始する。

村税収納の見込み

問 固定資産税が前年度比で1億1300万円減額となる要因は。

答 震災復興特区による課税免除が5年間続くため減額計上とした。

問 今後の村税の見込みは。

答 個人村民税は、近年の人口増により増額を見込んでいる。法人村民税は、会社の決算形態による影響が大きいため、法人税割額が伸びていない。



病児保育事業を開始する おおひら万葉こども園

松くい虫対策

問 今年度は松くい虫対策の予算措置がされていないように思う。

答 別件工事で駆除予定林を伐採したこと、樹幹注入の薬効期間が4年から7年に延びたため、予算措置の必要がなくなった。

総括質疑

更に詳しく

2名の委員が登壇

◎村誌編さんの方針は 石川 敏 委員

問 平成30年4月に村誌編集室を新設し、編さん業務に着手してきたが、掲載内容や作業期間、発刊予定時期、編集体制がいまだ定まっておらず、一年間の作業成果が見えてこない。村誌編さんの具体的な方針を明確にすべきではないか。

答 現在は村政に関する各種資料や記録の収集作業、他自治体の町誌などの調査を行っている。

掲載内容や発刊時期等は未定だが、少なくとも村政130周年に合わせて発刊するものではない。長期的に資料収集を行い、前回発刊の昭和58年以降の内容を掲載する村誌の編さんに役立てたいという考えで作業を進めている。

◎萩原村政4つの疑問点を質す 山路 澄雄 委員



障がい者福祉施設「わ・は・わ大衡」

問 昨年、優良村有地1haを20年間無償貸与して発足した障がい者福祉施設「わ・は・わ大衡」の村内利用者は、生活介護で2名、就労支援B型では6名と非常に少ない。

答 村内居住者の利用が少ないとの指摘だが、利用者個人と施設や作業内容との相性等があるため、特に少ないとは考えていない。

問 公用車の管理規則が改正されたが、村長車をはじめ、公用車の運行状況がチェックできなくなった。

答 4年前の選挙公約で掲げた「情報公開」の姿勢に逆行するもので、改正ではなく改善である。

問 管理規則に則り公用車を運用していく。

答 新公用車使用簿様式では用途内容をはじめ、記載事項が大幅に増加している。

問 農業振興策の目玉としてリモコン式草刈機1台導入に140万円、アシストスーツ購入助成に20万円を計上しているが、農業振興にどう貢献するのか疑問である。

答 草刈機は除草作業の効率化と安全のため導入する。アシストスーツは労働負担軽減のため上限2万円10着分を補助する。

問 いずれもスマート農業の呼び水となればと考えたものである。

問 高齢者と中高生への交通支援の取り組みは、他町と比べ大きく遅れている。公立高校に通学する生徒は、父兄の送迎を受けるなど、家庭の負担が大きい。何故放置しているのか。

答 移動手段の確保が難しい高齢者等には、29年度から年額2万4千円のタクシー利用券を交付している。高校生の通学支援については、黒川郡3町村と富谷市で構成する黒川圏広域行政推進協議会で検討を進めている。



平成30年度  
補正  
予算

一般会計ほか7会計を補正  
保育園への運営費を1,458万円減額



ききょう平保育園の園児たち

会計別	補正額	予算額
一般会計	△1億6,054万円	44億3,601万円
特別会計		
国民健康保険	△665万円	5億1,978万円
下水道	△318万円	3億1,425万円
介護保険	△30万円	6億80万円
合併浄化槽	△664万円	3,455万円
後期高齢	162万円	5,507万円
宅地造成	予算の組替	7,503万円
水道		
収益的収入	356万円	2億5,559万円
収益的支出	△18万円	2億4,753万円

補正の主なもの

- ◎歳入の補正
  - 固定資産税 ……△3,200万円
  - ふるさと寄附金 ……743万円
  - 下水道使用料 ……1,728万円
- ◎歳出の補正
  - 国保高額療養費 ……884万円

主 質 疑

ききょう平保育園の  
運営費

問 児童保育費の運営委託料が1458万円の大減額となっているが、その理由は。

答 平成30年4月に開所した認定保育園の村内入園者数を定員いっぱい40名で見込んで予算を編成した。

実績としては今年2月時点で村内入園者は11名と大きく下回ったため、減額した。

村税の減額補正

問 12月に固定資産税を5千万円以上減額したが、今回も3千万円以上減額している。当初見込みより歳入額がかなり減少すると思われるが、その要因は。

答 前回の減額は、当初予算で固定資産税の償却資産見積もりを多めにとったことが原因で、今回は復興特区の課税免除額が確定したためである。

農地集積の実績

問 農地中間管理機構の集積協力が512万円の大減額となっているが、その理由は。

答 当初の段階では、大瓜下地区で大規模な農地集積を計画しており、それを最大限見込んだ予算を計上していた。しかし、新規集積に該当しないケース等があり、実績では21件762万円が対象となることで確定した。

国保の高額療養費

問 国民健康保険の高額療養費が884万円増えているが、介護や後期高齢者のほかに、一般の方で大きな手術等が多くなったということか。

答 1人でも大手術となると医療費もあがる。高額療養費は過去3年の実績を踏まえ計上しているが、想定できない部分も多い。

一般  
会計

討論 (要旨)

反  
対

山路 澄雄 委員

拙速な事業推進に反対

村誌編さん事業には、課長級の職員をあて、高額の人件費を投入して事業を進めているが、編集方針すら具体化していない。新たな編集方針と編集体制を定めるまで一時停止すべきである。事業を推し進める村長の責任は重い。

公用自動車使用管理規則が改正されたが、私の評価では使用状況を把握できないようにした、情報公開に逆行する改正である。  
住民バスの利便性には明らかかな地域間格差がある。高齢者の生活支援と、小中高生の

通学支援のために、交通対策についても一度しっかりと検討すべきである。  
1haの村有地を貸与して昨年開設された障がい者福祉施設「わ・は・わ大衡」だが、村内の入所者が非常に少ない。今後利用者が伸びていくことも考えにくい。誘致を進めた村長の責任は重大である。  
以上のことから本予算に反対する。

賛  
成

佐々木 春樹 委員

補助事業を上手く活用

障がい者施設が村内にあるということは、障害のあるなしに関わらず心強いことである。これからの施設なので、反対討論にあった事例を注視しつつ支援していきたい。  
村誌編さんの成果が見えないという指摘には同意するが、

長期にわたる計画だとも思う。村史の把握や資料の収集を加速してもらいたい。  
今年度予算は自主財源が50%を超えている。道路改修や施設改良などに、補助事業を上手く利用して環境を改善する予算なので賛成する。

賛  
成

小川 ひろみ 委員

独自性と実効性のある予算

障がい者施設については、反対討論で様々な課題が指摘されたが、入居者とその家族にとっては念願の施設であり、感謝の声も上がっている。  
公用車規則改正は、周辺自治体の条文等を踏まえたものであり、問題ないと判断する。

本予算は、国・県等の動向事業を十分考慮し、基本構想・基本計画に基づいたものである。本村の目指す「地域で支えあい、皆で暮らしやすいまちづくり」に向け、独自施策を盛り込んだ実効性のある予算だと考え、賛成する。

一般会計委員会採決

賛成8 反対1

可決すべきと決定

特別会計6会計も可決すべきと決定



## 諮問 答申 人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の推薦について、議会の意見を求められ、全会一致で適任であると答申しました。その後、村長が法務局へ推薦し、法務大臣が候補者を委員に任命します。

任期 (予定) : H31.7.1~H34.6.30



中川さき子氏 (再任) 渡邊 礼子氏 (新任)

## 条例改正 心身障害者医療費の助成対象拡大

◎条例改正の趣旨  
宮城県の補助金交付要綱改正に合わせ助成の対象となる心身障害の範囲を拡大する。

新たに助成対象となるもの  
精神障害者保健福祉手帳1級所持者

◎施行日：平成31年10月1日

## 全員協議会 平成30年度水道事業会計予算の補正について 積算ミスで補正予算を再提案

### ◎水道事業会計の誤った積算方法

単位：千円

項目		誤った補正予算 (議案第16号)		
		①	②	①+②=③
1節	給料	△1,470	△1,487	△2,957
6節	法定福利費	△605	△744	△1,349

- ①平成30年4月人事異動に伴う人件費の補正額⇒提案見送り
- ②平成30年4月及び31年1月人事異動に伴う人件費の補正額
- ③実際に提案された人件費の補正額 (①+②)
- ②のみ提案すべきところを①も加算したため、減額幅が過大になった。

### ◎追加提案された水道事業会計補正予算

会計別	補正額	予算額
水道 (収益的支出)	208万円	2億4,961万円

平成31年第1回定例会で水道事業会計の補正予算を可決後、人件費等を減額しすぎていたことが判明し、再度補正予算が提案されることになりました。積算ミスの原因や改善策について、執行部から報告を受けました。

### 主な質疑

**問** 過剰に減額してしまった原因を詳しく追究し、再発防止のための改善策を考へるべきでは。

**答** 会計支出上の取扱いが複雑化したことと、最終確認が不十分だったことが主な原因である。システムとチェック体制を改善したい。

**問** 予算編成の繁忙期に人事異動があったこともミスの要因ではないか。異動時の連携や引継ぎに問題はなかったか。

**答** 異動時のチェック機能がやや弱かった。担当者が異動した際の引継ぎについて、マニュアルなどを継続的に改善していく。

**問** 今回の水道会計のミスを通して、全庁で気を引き締めて体制を整えていくべきではないか。

**答** これまで以上にミスがないよう、徹底して業務を進めていきたい。

### 主な質疑

**問** 低公害車と太陽光発電の補助の見込みは。

**答** 万葉クリーンエネルギーカー導入促進事業補助金は、近年補助申請が低迷する傾向にあり、今回も減額となった。万葉サンサンエネルギー普及促進事業補助金は、ときわ台南の住宅建設等により38件の申請があった。

### 主な質疑

**問** 下水道使用料が1728万円増額となっているが、その内訳は。

**答** ときわ台南の住宅建築が進んだことによる汚水量増加に伴い、料金が増額となった。

**問** 現在の受益戸数は。

**答** 31年1月末現在で1101件となっている。



住宅太陽光発電の申し込みは好調

## 契約変更 平成30年度奥田大森線改良舗装工事 コンクリート処分などで617万円増額



奥田大森線 (H31.2.8)

### ◎改良舗装工事の概要

工事場所	大森字脇線地内
施工延長	410m
請負業者	株式会社松川土木
請負金額	変更前：9,126万円 ↓ 616万8,960円の増額 変更後：9,742万8,960円

### ◎工事の主な変更点

- 盛土のための購入土と残土処分の発生
- コンクリート処分量の増加
- 歩道部の舗装面積の増加
- 交通誘導員の増員

### 主な質疑

**問** 4つの変更点のうち、増額の最大の要因は。

**答** 掘削したところ、地下に以前の道路整備時のコンクリート構造物がそのまま残っており、その殻の処分に大きな費用がかかった。

**問** 当初の予定では、工事で発生した土を盛土に転用するはずだったが、出来なかったのか。

**答** 土質試験の結果、一部の土が盛土に適さないことが判明した。施工区間410mの中でも土質の変化があった箇所が多かった。

**問** 幅員が広がったことを受け、制限速度が40kmから50kmに上げられた。地区住民からは事故を危惧する声もあるが。

**答** 追い越し禁止区域にしてほしいという地元要望があることを、県公安委員会に伝えるべく。





一般  
質問

# 6名の議員が登壇

## 質問者一覧表

- 佐々木 金 彌**  
・大和駐屯地の今後と戦車道について
- 石 川 敏**  
・旧幼稚園舎の改修計画を問う
- 早 坂 豊 弘**  
・農家所得の向上をどう考えていくのか  
・村誌編纂はどう進められるのか
- 山 路 澄 雄**  
・庁内における村長と職員の喫煙の現状を問う
- 佐々木 春 樹**  
・ごみの減量化は進んでいるのか  
・地区計画区域拡大の進捗状況は
- 小 川 ひろみ**  
・消防団・防災対策の現状と課題について  
・役場バス停のあり方は

## 議会を 傍聴してみませんか

皆さんが選んだ議員がどのような質問・発言をしているのか、村の執行部がどのような施策を考えているのか、是非議場で傍聴してみませんか。

お問合せ先:大衡村議会事務局  
☎345-6030  
✉gikai@village.ohira.miyagi.jp

次の定例会は  
**6月5日(水)**  
からの予定です

※会議録は議会事務局・ホームページで閲覧できます。

# 平成31年3月定例会提出議案 25件

(人事2件、条例改正6件、補正9件、当初予算7件、その他1件)

- 諮問第 1号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 諮問第 2号 人権擁護委員候補者の推薦について  
諮問第1～2号は11ページに掲載
- 議案第 2号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 3号 大衡村特別会計条例の一部を改正する条例の制定について  
宅地造成事業特別会計を廃止するもの
- 議案第 4号 大衡村税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 5号 大衡村いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の一部を改正する条例の制定について  
教育委員会の課名変更にあわせたもの
- 議案第 6号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 7号 大衡村心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
議案第7号は11ページに掲載
- 議案第 8号 平成30年度奥田大森線改良舗装工事の請負契約の変更について  
議案第8号は10ページに掲載
- 議案第 9号 平成30年度大衡村一般会計予算の補正について
- 議案第10号 平成30年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正について
- 議案第11号 平成30年度大衡村下水道事業特別会計予算の補正について
- 議案第12号 平成30年度大衡村介護保険事業勘定特別会計予算の補正について
- 議案第13号 平成30年度大衡村戸別合併処理浄化槽特別会計予算の補正について
- 議案第14号 平成30年度大衡村後期高齢者医療特別会計予算の補正について
- 議案第15号 平成30年度大衡村宅地造成事業特別会計予算の補正について
- 議案第16号 平成30年度大衡村水道事業会計予算の補正について  
議案第9～16号は9～10ページに掲載
- 議案第17号 平成31年度大衡村一般会計予算を定めることについて
- 議案第18号 平成31年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算を定めることについて
- 議案第19号 平成31年度大衡村下水道事業特別会計予算を定めることについて
- 議案第20号 平成31年度大衡村介護保険事業勘定特別会計予算を定めることについて
- 議案第21号 平成31年度大衡村戸別合併処理浄化槽特別会計予算を定めることについて
- 議案第22号 平成31年度大衡村後期高齢者医療特別会計予算を定めることについて
- 議案第23号 平成31年度大衡村水道事業会計予算を定めることについて  
議案第17～23号は2～8ページに掲載
- 議案第24号 平成30年度大衡村水道事業会計予算の補正について  
議案第24号は11ページに掲載

## ◇3月定例会 採決状況表◇

○賛成 ×反対 議長(細川運一)は採決に加わらない。

議案	石川敏	佐藤貢	早坂豊弘	佐々木春樹	文屋裕男	高橋浩之	遠藤昌一	山路澄雄	佐々木金彌	小川ひろみ	細川運一	議決結果 (賛成:反対)
諮問第1号～2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	適任(10:0)
議案第2号～16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(10:0)
議案第17号 一般会計当初予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	可決(9:1)
議案第18号～24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決(10:0)

## 議員辞職についてのお知らせ

小川宗寿氏から議員辞職願が提出され、平成31年2月27日付けで議長が辞職を許可しました。





石川 敏 議員

# 旧大衡幼稚園をどう活用するのか 6月議会に改修予算を提案したい

**議員** 施設の改修工事費用はいくらになると見込んでいるのか。

**村長** 他の公共施設の改修工事費を参考に積算し、約3千万円を見込んでいる。



有効な活用ができるか旧大衡幼稚園

**議員** 改修後の使用可能期間は、何年か。

**村長** 使用可能期間は、建築後の経過年数や施設構造の耐用年数からみて、10年と想定している。

**議員** 施設の一部をくろかわ商工会大衡事務所や株万葉まちづくりセンターの甘酒工房に貸し出しする計画があるが、行政財産を他に貸し出すのは、法令に照らして適正か。

**村長** 地方自治法の規定により貸し出しは可能である。貸し出す場合は、その改修工事費は借りる側に負担していただくように考えている。

**議員** 現在の建物を改修して利用する案と、解体して他の用途に転換する案を比較検討するべきではないか。

**村長** 建物を解体するには3、4千万円かかるの見込まれる。検討委員会等では現施設を利活用する提言が出ているので、改修する案を進めていく。

**議員** 旧幼稚園舎は建物だけでなく広い園庭もある。主たる利用目的は何か、誰のための施設としていくのか。

**村長** 住民が広く利用できるふろさと交流プラザ的な施設を考えている。住民の福祉向上に寄与することが大前提であり、6月議会に予算を提案したい。

**議員** 6月議会までに改修計画案がまとまるのか。後戻りしないように、必要な時間をかけて活用案をまとめるべきではないか。

**村長** 旧幼稚園が閉園してすでに7年が経過しているので、より良い活用案を提示して、皆さんの賛意を得たい。



佐々木金彌 議員

# 大和駐屯地の今後と戦車道について 時期をみて改修を要望していく



16式機動戦闘車両の走行風景

**議員** 自衛隊は今後、戦車の削減や廃止、そしてタイヤ走行型車両への変更を進めるという。大和駐屯地は第6戦車大隊と第6偵察隊で編成されているが、その変更について村に報告はあるのか。

**村長** 村が要望活動をした際、大和駐屯地司令から、第6戦車大隊は31年3月末をもって多賀城駐屯地、第22即応機動連隊に所属する機動戦闘車両となるという話を聞いている。

**議員** 配備車両はキャタピラ式戦車からタイヤ式の機動戦闘車に変更となる。これまで戦車大隊長が兼任していた大和駐屯地司令職には、偵察隊長が任命されることになるようだ。

**議員** 対キャタピラ舗装道、通称戦車道は騒音や振動、粉塵や車両通行等で沿線住民に迷惑をかけてきたと思う。タイヤ走行型車両への変更で、王城寺原演習場での演習や今後の道路改修はどうなっていくのか。

**村長** よその戦車部隊が王城寺原で演習をする際は、一旦大和駐屯地に輸送されてから自走して演習場に向かうため、当分は戦車道が使われると思う。対キャタピラ舗装が不要となる時期をみて改修を要望していく。

**議員** 演習場内が荒廃し、土砂の流出や増水等が心配されている。演習による騒音や振動等への対策として、防音工事や空調設備の更新、さらに防音エリア拡大の要望も必要である。

**議員** 要望活動は、村と議会や住民が一緒に行動するほうが効果があると思うが、村ではどう考えているのか。

**村長** 要望活動については、これからも大和・色麻・大衡の3町村で連携しながら進めていければと思っている。機運が高まれば、議員や住民の方々と一緒に東北防衛局や防衛省に赴いて、地域の切実な願いを訴えていきたい。





山路 澄雄 議員

# 村長と職員の喫煙行動を質す 屋上喫煙所は閉鎖する

**議員** 健康増進法の改正により、今年の7月1日から公共施設における喫煙の禁止が厳格化される。役場職員の庁内における喫煙は、庁舎東側1階の透明波トタンで囲われた指定喫煙所で許可されているが、勤務時間にもかかわらず、喫煙、談笑する姿が見受けられる。

地方公務員法には、職務に専念する義務が明記されている。この実態をどう認識しているのか。



庁舎1階東喫煙所

**村長** 全職員87名のうち、3割弱の25名が喫煙者である。昨年12月より勤務時間内の喫煙を慎むよう、総務課長名で張り紙を掲示している。勤務時間内の喫煙者はいないのではないかと思う。

**議員** 勤務時間内に喫煙するため勤務場所を離れることは許されない。厳しく対応し規律を確立すべきである。



庁舎屋上喫煙所

**議員** 庁舎東側の屋上に吸殻入れの空き缶を置き、その場所を喫煙所に指定しているが、一番多く使用しているのは村長ではないか。屋上も庁舎の一部である。早く閉鎖すべきである。

**村長** 健康増進法の改正に合わせて、今年の7月1日をもって閉鎖する予定である。

**議員** 平成30年11月22日、大和町にて黒川地方市町村議会議員研修会が開催され、終了後に懇親会があった。来賓であった村長は、会場内が全面禁煙であったにもかかわらず、他の首長、議員のテーブルで喫煙し、受動喫煙による被害を与えていた。

**村長** 村のトップとして、大和の品位をおとしめる行為は厳に慎むべきである。

**村長** その会場で喫煙していたかは記憶が定かではないが、迷惑をかけたということであれば、深くお詫びを申し上げたい。

**※健康増進法の一部改正**  
望まない受動喫煙を防止するため、2019年7月1日から学校・病院・行政機関等の敷地内は原則禁煙となる。屋外かつ分煙が徹底されていれば、喫煙所の設置は可能。



早坂 豊弘 議員

# 村誌編さんはどう進められるのか 昭和58年以降の歴史をまとめる



昭和58年発行の大衡村誌

**議員** 昨年4月の村誌編纂室新設から一年が経とうとしている。編さんはどう進められているのか。

**村長** 関係文献や村内史跡を調査し、他市町の歴史書も調査している。

**議員** 本村の文化財についても取り上げては。

**村誌編纂室長** 教育委員会と協力し、取り上げていきたい。

**議員** 昭和58年に「大衡村誌」が発行されてから37年が経過している。村誌は昭和58年から現在まで掲載するものになるのか。また、村誌で取り上げたいと考えている事象はあるか。

**村誌編纂室長** 37年分の掲載を考えている。企業誘致や東日本大震災、クリエートパークの設置、医療費無償化などは取り上げたい。

**議員** 平成30年度から米の直接支払交付金が廃止され、米農家の所得は減少した。29年産までの時限措置ではあったが、10aあたり7500円が個々の農家に、村全体では4700〜4800万円が支給された。交付金が無くなったにもかかわらず、新たな支援策が必要ではないか。

**議員** 複合経営の利点を活かして振興作物をブランド化する。中々進まない現状をどう考えているのか。また、農業専門のチームを作って所得向上のための支援策を考えては。

**村長** 高品質化のためには栽培方法の厳格化や技術的支援が必要になる。何が本当に必要な支援なのかを検討していく。

さらに本村農業関係支援制度についてもPRをしていく。

**村長** 国による生産調整はなくなったが、生産の目安を示すことで、米価の安定へ向けた取り組みを継続していく。

また、長ねぎ、ほうれん草、白菜、アスパラガス等の振興作物の栽培を進め、JAあさひなど連携した支援を行い、農家所得向上を考えていく。

## 農業所得の向上をどう考えるか 振興作物栽培を進めていく





小川ひろみ 議員

# 消防団防災対策の現状と課題は 計画的に整備し災害対策を万全にする

定員200名に対し、概ね150名台で推移している。分団によって人数に偏りがある。勧誘は分団主体で行っている。村は広報紙や防火査察時のチラシに団員募集の記事を掲載したり、成人式でパンフレットを配布している。

**村長**

**議員**  
消防団員の現状をどう把握しているのか。入団の勧誘方法は。



軽消防車

**村長**

**議員**  
少子高齢化等により、各分団は若い消防団員の確保に大変苦慮している。現在の10分団体制を再編する考えは。

将来的な団員数の推移について予測するのは困難で、村消防団70年以上の伝統を無くしていいのとも考える必要がある。現時点で再編成について判断するのは難しい。

**議員**

## 役場前バス停と周辺の整備は 村有地・バス停を含め 土地利用を模索していく

役場前バス停は困いがないため、天候の影響を受けやすく、利用者から大変との声がある。また、役場に隣接する私有地を取得したが、今後の考えは。

**村長**

取得した土地は当面駐車場として利用していく。隣接地が更地になったことで、役場前バス停はこれまで以上に風雨の影響を受けると思われる。利用者からご意見をいただき、対応を検討していく。



佐々木春樹 議員

# ごみの減量化は進んでいるのか 増えているのが実態

過去5年間では、平成27・28年度は減少したが、平成29年度は増加している。可燃ごみは平成26年度を上回る排出量となっている。

**村長**

**議員**  
集積所等でのトラブルはないか。

**議員**  
ごみ排出量の推移は。

**村長**

**議員**  
出前講座は要望がなく、開催に至らなかった。家庭ごみ収集計画表「ごみ分別と出し方」のチラシを每户配布し周知啓発を図ったのか。

**議員**  
ごみの減量化に向け、出前講座等で周知を図るとしては、指導実績と成果をどのように総括しているのか。

**議員**  
ごみが増え、トラブルも発生しているのであれば、住民の出前講座を待つのではなく、村が積極的に出向いて講習等行うべきではないか。

**住民生活課長**  
依頼を待つだけでなく、出向いていくことも検討したい。



ごみ収集の啓発用チラシ

**議員**

具体的計画案は進んでいるのか。

## 地区計画区域拡大の進捗状況は 土地利用計画案作成に着手

五反田・亀岡地区計画区域内にある未利用地部分の編入と区域の拡大を図るため検討を進め、土地利用計画案の作成に着手している。

**議員**

五反田地区では関係者の調査を開始しているが、現状はどうか。

**村長**

土地利用構想に基づく住宅開発については、アンケートの結果、概ねの方から賛成と回答があった。

**議員**

住宅開発は、村が主体となって進めていくのが望ましいと思うが。

**村長**

開発には多額の財源と、時間を要してしまうことから、住宅需要や事業手法のヒアリングをし、意欲ある民間業者へ誘導を図ってきたい。

**議員**

村広報紙のQRコードには消防団員募集項目のリンクがなかった。若者は紙よりもスマホ等の検索で情報を得ることが多いと思われる。ホームページ等での募集を充実させていくべきでは。

**総務課長**

広報紙のQRコードについては早速募集項目にリンクさせる。

**議員**

全国的に消防団員は年々減少しているが、一方で女性消防団員は増加している。村では女性消防団員を認めていく考えはあるか。

**村長**

女性消防団の趣旨は素晴らしいと思うが、本村の人口規模や担い手の負担を考えると、難しいと思われる。



委員会  
報告

塩浪地区住宅団地整備調査特別委員会最終報告  
ときわ台南全108区画分譲済み



建築が進んでいる ときわ台南団地

特別委員会の活動概要

定住人口増加を目指し、村が造成・分譲する一大プロジェクトである住宅団地整備事業について調査することを目的に設置した。

平成27年9月17日の設置から平成31年3月定例会の最終報告に至るまで、委員会を13回開催、11回の現地調査を行い、2回の間接報告を実施している。

◎住宅団地整備の経緯

年月日	経緯等	年月日	経緯等
H25.12.6	住宅用地の取得を議決	H29.11.5	団地完成記念式典
H27.8.20	団地造成工事の請負契約を議決	H29.11.23	分譲申込み受付開始（ハウスメーカー）
H29.3.2	ときわ台南字区域の変更を議決	H29.11.30	募集106区画申込み完了
H29.6.23	宅地販売業務契約締結（県住宅供給公社）	H30.6.30	販売事務所閉鎖
H29.9.25	宅地分譲申込み受付開始（一般個人）	H30.12.5	土地引渡し（最終）

◎事業費財源内訳

内訳	金額	割合
国庫補助金	3億7,169万円	21.4%
防衛交付金	1,500万円	0.9%
下水道補助金	2億8,900万円	16.6%
地域開発事業債	2億4,306万円	14.0%
一般会計借入金	4,820万円	2.8%
下水道事業債	6億1,581万円	35.4%
宅地売払金	1億5,569万円	8.9%
一般財源	17億3,845万円	100.0%
合計		

◎宅地分譲状況（H31.1.15現在）

申込者	区画数	完成	着工中	未着工
一般個人	64	50	10	4
ハウスメーカー	44	27	5	12
計	108	77	15	16

◎申込者の傾向

ときわ台は比較的村内からの転居者が多かったが、ときわ台南に関しては82%が大和町など村外からの転入者となっている。年齢的には30代以下が78%を占める。



改修された五反田住宅

◎五反田住宅改修工事請負契約の変更について

請負業者	丸か建設株式会社
請負金額	変更前：1億3,273万2,000円 ↓ 870万4,800円の増額 変更後：1億4,143万6,800円
主な変更点	①外壁のひび割れが予想より多く、改修箇所が増えた ②凍結時の耐久性を考慮し、雨どいの材質を変更した

**増額工事費の財源は**  
900万円近い増額だが、その財源は、増額分は、県との折衝の結果、全額補助対象となる見込みである。

**主な質疑**  
積算の精度を上げよ  
事業設計の段階で、外壁補修等の必要箇所を把握しきれなかったのか。  
どうしても足場を組んでハンマーを使わないと詳細は把握しきれなかった。以前実施した3号棟の改修実績を反映し、多めに見積もったが、それをさらに上回る結果となった。

平成31年第1回臨時会は、1月30日に開かれました。請負契約の変更1件が村長より提出され、全て原案どおり可決しました。

契約  
変更

平成30年度五反田住宅1号棟・2号棟改修工事  
壁面補修等により工事費870万円増



# 委員会 Report

## 分館長会と議会との懇談会 (村の課題への意見交換会)

広報広聴

調査年月日  
平成31年1月26日



### ◎懇談会の目的と内容

分館長からの問題提起に議員が答える形式で、村の諸課題について意見交換を実施した。

### ◎懇談会で交わされた主な意見

Q：大企業進出の恩恵は、どのような形で受けられるのか。(税込・交通等)

A：税金などを数値としては示しがたい。通勤ルートの調整は企業側で検討している。

Q：村内の体育施設は冬寒く、夏暑いものしかない。

A：体育館は営利目的施設ではないので、冷暖房設置は難しい。意見を村に伝える。

Q：村で自慢できる事案・制度・施設はあるのか。

A：道路や施設整備は充実している。子育て支援は手厚いが、新たに支援を行う自治体が増加し、優位性は失われつつある。

Q：イノシシ被害への対策は。実施隊への援助は十分か。

A：フェンス設置、わな等で対策している。昨年は20頭以上のイノシシを駆除した。鉄砲やわなの免許取得には補助がある。実施隊の年俸向上を要望していく。

### ◎調査を終えての所感・意見

これまでの「議会報告会形式」よりも、相手方が集まる機会に合わせて議会が出向く「出前講座形式」のほうが、多くの出席を見込めると感じた。

分館長との懇談は、議会における広聴の基本である「地域住民の声を聴く」ということのほかに「議会議員の担い手発掘」という点でも意義があると思われた。

次期改選後も各種団体と懇談を進めていくことが望ましい。

委員会  
報告

## 王城寺原演習場対策特別委員会最終報告 8年連続で米軍実弾射撃訓練実施



米軍実弾射撃訓練見学会 (H31.2.12)

## 調査の結果(主なもの)

### ①王城寺原演習場の運用について

- 1) 王城寺原演習場では、通算16回にわたり沖縄駐留米軍の実弾射撃訓練が実施されている。平成24年度から平成31年度まで8年連続で実施される。
- 2) 陸上自衛隊の訓練使用に伴う諸問題については、村として自衛隊や防衛当局に対し対策を強く要望すべきである。

### ②演習場周辺障害防止対策について

- 1) 大瓜南側線等の村道は、戦車走行による路面損傷が著しいので、障害防止工事を防衛当局に要請していくべきである。
- 2) 県営障害防止工事によって整備された溜池や堰堤には、大量の土砂が流入堆積し、貯水量や操作機能に支障をきたしている。堆積土砂の撤去を強く要望すべきである。
- 3) 県営障害防止工事には、地元関係者の要望等に沿っていないものも見受けられる。村として県と地元関係者間の調整を図る必要がある。

### ③防衛施設周辺整備調整交付金について

調整交付金は通常交付分に加え、米軍実弾射撃訓練に伴うSACO分が毎年追加交付されている。交付金はときわ台南住宅団地や小中学校等に集中して充当されてきている。

交付目的である演習場周辺地域の生活環境改善に寄与する事業には使用されていない。演習場周辺地域の整備事業にも充当すべきである。

### ④次期改選後に向けての提言

王城寺原演習場に起因する諸問題については、演習場が存在する限り継続して発生する課題である。次期改選後も特別委員会を設置して対応することを提言する。



調査年月日:平成31年2月8日

調査年月日:平成31年2月13日

## 尾西中山線改良舗装工事 (尾西中山線第1・2工区現地調査)

### ◎工事の概要

補助金	防災・安全交付金	
施工延長	1工区	300m
	2工区	269m
幅員	車道7m、歩道2.5m	
請負金額	1工区	4,428万円
	2工区	4,098万6千円
工期	H30.8.13～H31.3.25	



委員が下見する舗装工事現場

1工区は歩車道境界ブロックの施工延長、2工区は道路照明灯1基追加により、それぞれ請け負い金額の増額と完了期日の延長がなされた。近年の請負工事の設計は、尾西中山線の改良舗装工事に限らず中途での事業変更が多くなっている。事業設計の段階で十二分な精査を行うべきである。

## 平成30年産米行政区毎生産実績

### ◎生産の目安実施状況(13行政区の合計数値)

農家数	基本面積	生産目安面積	転作率	転作等面積	達成率
458戸	1,086ha	640ha	41.05%	488ha	109.40%

約42haの超過達成だった。転作作物は大豆が最も多かった。

## 第66回村民体育大会の休止

### ◎県総合防災訓練開催に伴う村民体育大会の休止

平成31年9月1日に開催予定だった第66回村民体育大会は、同日に「宮城県9.1総合防災訓練」の開催が決定したため、今回は休止となった。

### ◎調査を終えての所感・意見

今回村民体育大会を休止することについては、関係諸団体にも協議のうえで決定したものの、1年の休止期間の間に、今後の村民体育大会についても、関係諸団体と協議を重ねておくべきと考える。

教育委員会は、教育学習課が一つの課で全体を所管する体制を改め、学校教育課と社会教育課の2課に再編する。給食費の完全無償化や、いじめ・不登校問題、少子高齢化時代に即した社会教育など、山積する課題・問題に対応できる組織となってほしい。

## 住民バスの運行のあり方 (平成30年度万葉バス利用状況)

### ◎万葉バス利用状況一覧

区分		平成31年度	平成30年度
5路線合計	運行日数	205日	204日
	運行便数	1,435便	1,428便
	乗車人数	10,351人	11,014人
	1日平均人数	50.5人	54.0人
	乗車料金	195,200円	233,900円

※30・31年度とも1月31日現在の統計



万葉バス大瓜線

### ◎万葉バス5路線の停留所ごとの乗降実態

大森中学校線、大森線、大瓜線、大森椋田線、衡上松原線の5路線では、乗降者が全くいない停留所が複数存在する。利用率向上のためには、毎年の見直しが必要だと思われる。

### ◎万葉バス運行に関する地域の要望と村の取り組み

ときわ台地区の最寄停留所は「小学校前停留所」で不便であるとの声を受け、31年度から「ときわ台停留所」が新設される。

近隣自治体との公共交通の連携に向けて、黒川郡3町村と富谷市で構成する黒川圏広域行政推進協議会が設置され、検討を進めている。

## 宮城県9.1総合防災訓練

### ◎総合防災訓練の概要

訓練日時	平成31年9月1日(日)	
訓練場所	小学校、仙台北部中核工業団地等	
主催	宮城県、大衡村	
財源	736万円	県補助金:200万円
		震災復興基金:536万円

### ◎防災訓練のスケジュール

平成30年12月から宮城県、黒川消防、村で協議を重ねている。平成31年7月に村消防団や婦人防火クラブ、その他関係団体も含めた全体会議を行い、詳細な訓練内容を決定する。

### ◎調査を終えての所感・意見

万葉バスの運行については、便数にほとんど増減が無いにもかかわらず、乗車人員が前年比で800人減少している。乗客がまったくいない「空気バス」が深刻になっている。

広域連携に向けた取り組みがはじまったが、バスターミナル機能を有する大和町や、通学支援や高齢者福祉バスに力を注ぐ大郷町に比べ、村の住民バス対策は遅れていると言わざるを得ない。行政の責任は大きい。



## 子どもにより良い 学校生活を



衡中北地区  
きえ  
佐々木 記恵 さん

私は子どもの頃から大衡村で生活しているため、小学校・中学校に冷暖房が完備されていることも、当たり前だと思っていました。

他の町で暮らしている友達に、学校に冷暖房はないと聞かされて驚きました。いかに私たちが恵まれた環境で生活しているのかを、改めて実感しました。

これから、子ども達がより良い学校生活を送れるようにしてほしいです。

私の個人的な意見ですが、現在の幼保一元化だけでなく、将来的には幼稚園・小学校・

中学校が一体となってほしいと考えています。将来にわたって、大衡村が子ども達にとって恵まれた場所であってほしいと思います。



会長 吉田 昭宏さん

大森どじょうの会は現在16名のメンバーで、大森須賀神社のお祭りのお手伝いをしたり、村のお祭りでは出店を出したりしています。

大森の大イベント、大森夏まつりは、どじょうの会主催で、8月に集会所前で開催しています。

大森どじょうの会は、50数年前に現在のメンバーの父親たちが結成した青年会で、一時解散となりましたが、7年前に再結成しました。

大森夏まつりは、どじょう

の会が出店した収益でまつりを運営し、地区民全員が集まって、カラオケやビンゴゲーム、抽選会など楽しく一日を過ごしています。まつりはどじょうの会だけではなく、婦人会・子ども会育成会の皆様にも協力をいただき、盛大に行うことができます。

今後も大森地区を盛り上げていけるよう、メンバー全員で活動していきたいと思っています。

## 輝く村びと



大森どじょうの会  
(ふるさと祭りでの活動)

## あ が と き

花の色がきれいな季節になりました。

住民の皆様に取り、読んでもらえる「みやぎおおひら議会だより」を目指し、編集委員一丸となって取り組んできました。今任期の委員による編集は、この180号が最後になります。

これまでの発行にあたり、住民の皆様には多大なるご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。委員一同、心より感謝申し上げます。

小川ひろみ

### 大衡村議会

広報広聴常任委員会

委員長 文屋 裕男

### 広報分科会

委員長 小川ひろみ

副会長 佐藤 貢

委員 石川 敏

委員 早坂 豊弘

委員 山路 澄雄

発行責任者 議長 細川 運一